

# 令和6 年度 美郷町立西郷義務教育学校 学校評価

学校の教育目標 ふるさとを愛し、未来を拓く子どもの育成

段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

質問項目	児童生	保護者		教員	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者コメント ○良い ●改善、○意見、★質問
		義務教育	幼稚園					
学習に関する こと	1 学校は、みなさんが望ましい学習習慣(授業態度、計画的な家庭学習や課題への取組)を身に付けるために、サポートを行っていますか。	3.7	3.5	3.5	3.1			○授業のめあてがあるので取り組みやすいと思います。 ○学級通信や学級懇談などを通じて、今、児童生徒がどのような学習内容でつまづいているかを伝える事で家庭での自主学習の手助けになる取組は良い。 ◎個々の教材やアプリなどのことは見ていないのでわからないが、子どもにあったもの、教師が活用しやすいものを使っていくのが良いと思う。 ◎出せる範囲で構わないので、全国学力調査の結果を教えてほしい。 ◎基礎学力の向上と授業研究を通じて、児童生徒の学習習慣の定着を図るための具体的な取り組みがコメントされています。特に、視覚化や音声教材の活用、家庭との連携など、多角的なアプローチが取られています。 ◎教師の評価が低いという課題も指摘されており、今後は教師がより積極的に手立てを講じ、児童生徒の自立した学習を支援していく必要があると思います。 ◎今後の取組としては、教師の指導力向上や、児童生徒の個別ニーズに応じた支援策の検討が重要になるのではないのでしょうか。 ◎家庭との連携をさらに強化し、さらに学校と家庭と地域が一体となった児童生徒の学力向上を目指すことが求められます。 ◎外部には見えにくく評価することが難しいです。
	2 学校は、みなさんが「分かる・できる」ように、工夫して授業や活動を行っていますか。(ICT機器の活用・教材の工夫等)	3.7	3.5	3.5	3.4			◎現状の取り組みには一定の成果が見られるものの、ICT機器の活用や掲示物の効果をさらに高めるための改善が学校側に求められていると思います。そのために教師間の協力や家庭との連携を強化し、児童生徒の学びをより深めるための環境を整備することが今後の課題ではないのでしょうか。 ◎今後、学力テストなどがタブレット端末を使う形式になると授業などもそれに準じた形を増やすなどの対策が必要かと思う。
	3 学校は、みなさんがテストや課題に取り組む際に、近い目標や将来の目標(夢)を持ちながら挑戦したり、目標達成のために粘り強く取り組んだりできるようなサポートを行っていますか。	3.5	3.3	3.5	3.1			○めあてや目標を短期、中期、長期で設定し可視化することにより意識向上を図る取組が、校内各所でよく見られる。 ◎現状の取組には計画性や組織力が感じられるものの、課題の質や個別目標の設定、振り返りなどの質をさらに高めていくことが今後の課題ではないのでしょうか。 ◎児童生徒一人ひとりが学びの質を深め、自律的な学習態度を育めるような環境整備を整えることも学校として重要だと思います。
生活に関する こと	4 学校は、みなさんが学校生活をとおして、学校のきまりや社会のルール(法律・交通ルール)を守ろうとする規範意識を身に付けられるためのサポートを行っていますか。	3.7	3.5	3.7	3.1			○各学年でよい取組を行っている。前期ブロックの最高学年や、後期ブロックでは下級生の模範たれという意識が芽生えているように感じる。 ◎「西郷義務教育学校生のめざす姿(後期ブロック)」があって毎年見直していることや「前期ブロックよい子の1日」が今年度でできたことを示した方が良いと思う。 ◎現状の取組には一定の成果が見られるものの、規範意識の育成や交通安全教育、学校のきまりの見直しなど、さらなる改善が求められる領域も明確にあると思います。児童生徒の主体性、生徒会の意見も尊重しつつ、継続的な指導と振り返りを行うことが大事ではないのでしょうか。 ◎決まったルールを知りたい。 ★自転車のヘルメット着用も通学だけではなく推奨されないのでしょうか。
	5 学校は、学級での係活動や生徒会活動(隊活動を含む)、学校行事等とおとして、みなさんが自ら考えて行動できる主体性を身に付けるためのサポートを行っていますか。	3.7	3.4	3.5	3.0			○運動会や生徒会活動をみるに自主性がよく表れていると感じるのでよいサポートをされていると思う。 ◎現状の取組には一定の成果が見られるものの、全学年における主体性の育成や生徒会活動の充実、教師の支援体制の強化など、さらなる改善が求められる領域もあることは明確です。児童生徒が主体的に学校生活を送り、自己肯定感や責任感を育むための環境へと導くことも大事だと思います。 ◎教師が企画した隊活動があると聞いた。下手でもいいので、子どもが考えた企画を導いて、主体性を育てて欲しい。 ◎子どものからの課題だけでは出てこない課題があるのではないのでしょうか。
	6 学校は、学習や生活の中でみなさんの成長や頑張りが見られた際には、褒めて自信をもたせるようにしてくれていますか。	3.5	3.4	3.8	3.5			○よく褒めていただいているように思う。家庭に対しても褒めるように促している点もよい。 ◎高学年に対する支援の充実や全員が参加しやすい環境の整備、アンケート結果の詳細な分析など、さらなる改善が求められる領域も見えます。児童生徒一人ひとりが自己存在感を育み、自信を持って学校生活を送れるよう、継続的な支援を行うことが必要かなと思います。 ◎高学年になるとできて当たり前も多くなり、ほめることも大切だが、ほめられなくても当たり前になってほしい。そういう大人になってもらいたい。

質問項目	児童生	保護者		教員	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者コメント ○良い ●改善、◎意見、★質問
		義務教育	幼稚園					
健康・安全に関すること 7 学校は、健康で安全な過ごし方（登下校も含む）、命を守る方法や生命を尊重する心を大切に授業や活動を行っていますか。（いじめのない集団づくり、授業、避難訓練、学校保健委員会、性教育、毎月の安全点検）	3.7	3.3	3.6	3.7	○毎月、安全点検を実施し結果や修繕経過を共有することで、施設不備によるけがを防ぐことができる。 ○毎学期の避難訓練やシェイクアウト等に真剣に取り組み、命を守ることや安全に過ごすことについて考える活動を行っている。 ○学級の実態に応じて授業内容を工夫し、道徳、学級活動や人権教育を実施した。（性教育、いのちを大切にする教育等） ○毎月の学校生活アンケートを活用し、児童生徒理解に努めるとともに、困り感を抱いた児童生徒に丁寧かつ迅速に対応した。 ●道徳や「いのちを大切に」する教育等と関連付けた教育活動を行っていく必要がある。あわせて、PTA活動や学習支援ボランティアとの連携も図っていく。	3.6	3.3	○避難訓練などを定期的に実施し、子供たちもよく身に付いている。 ○いじめに繋がる様な言動や行動に対して、先生方が機敏に感じとり、子供たちとの対話を通して改善を図って行く取組が出来ていると感じた。 ◎児童生徒が安全で安心して学校生活を送れるよう、引き続き継続的な支援、教育を行うことが重要だと考えます。
健康・安全に関すること 8 学校は、みなさんが、健康を意識した生活（睡眠・食事・運動・メディアコントロール）ができるように、サポートを行っていますか。	3.5	3.3	3.3	3.1	○健康観察や日記、行動観察を通して、児童生徒の健康状態を確認するとともに教師間で情報共有し児童生徒の実態把握に努めている。 ○外部からの講師を活用したり、養護教諭・栄養教諭と連携したりして、児童生徒の実態に応じた健康教育に取り組むことができた。 ○養護教諭を中心に、歯の治療率アップのために児童生徒及び保護者への啓発に尽力しており、歯の治療についての意識は、児童生徒・保護者ともに確実に高くなっている。（治療率 R4:51.8%、R5:93%） ○保健体育の授業において、体をスムーズに動かすことにつながるビジョントレーニングを継続したり、活動量を確保した授業を展開したりすることで、生涯において運動に親しむ態度の育成を図った。 ○後期ブロックにおいては、隊活動の取組を通して、健康に対する意識の向上と具体的な取組を実施した。その後も実践を継続している生徒の姿も見られ、児童生徒の意識の向上につながっていると考える。 ●児童生徒が「健康を意識した生活を送ることができている」という実像が見えづらいため、家庭と連携し、引き続きサポートを行っていく必要がある。	3.3	3.1	○健康観察や情報共有の充実、外部講師や専門職との連携強化、歯の治療率向上への継続的な取組、保健体育の授業と隊活動の充実、家庭との連携強化などの取組は評価できる。 ○後期ブロックの健康守り隊や学校の健康に対する取組みはよい。後は家庭の問題か。 ◎児童生徒が健康を意識した学校生活が送れるよう今後も家庭との継続的な連携サポートを行うことが重要だと考えます。 ◎「仰うつ（状態）」について子どもたちが、話を聞く機会があると良いと感じる。 ★眼科検診や内科検診後の再受診率はどうなっていますか。 ★家庭に、より積極的に取り組んでもらえるような工夫はされているのでしょうか。
保護者・地域との連携に関すること 9 学校は、保護者や地域と連携し、ふるさとを愛する気持ちや共助（互いに協力し助け合う）の気持ちを育てる授業や活動を行っていますか。	3.6	3.1	3.4	2.9	○総合的な学習の時間で地域の特産物、福祉、伝統芸能継承活動、地域課題決学習（ちくせん）、ひなた場、ドリームプラン、卒業研究等、保護者や地域と連携した教育活動を実施した。 ○各教科や行事等において地域人材を活用とした学習を実施し、子どもたちの学びを深めることができた。 ○今年度は、学習ボランティアを活用した授業を行ったことで、児童生徒の学びが深まった。さらに、子どもたちが地域の大人を身近に感じることもできたことや参加してくださった方々からの子どもたちと触れ合うことができ、楽しかった、元気をもらったとの声が多々あったことから、今後も地域コーディネーターを中心に実施していく。 ○今年度は「ひなた場」を学校独自で実施したことで、柔軟な活動計画を立案・実施できた。今後は、学校運営協議会と連携しながら、持続可能でより充実した取組を行っていく。 ○町の伝統行事であり、本校の大きな行事でもある御田祭では、昨年の反省を生かし、町や保護者と連携して参加の在り方の検討を進めてきたことで安心安全で充実した活動ができた。 ●地域と連携した活動においては、学習のねらいを地域・保護者・学校が共有し共通理解を図りながら丁寧に進めていきたい。 ●学校の状況も発信しつつ、PTA活動（運営委員会も含む）や参観日等の場を活用し、保護者や地域の情報を収集し持続可能な教育活動を実施していく必要がある。	3.3	3.1	○学校・保護者・地域が連携し、総合的な学習の時間の学習が進められていることは素晴らしいことだと思います。 ○地域コーディネーターを通しての授業サポートは大変よい。今後も活用を増やせるとよい。 ○全体として、学校が地域や保護者と密接に連携し、多様な教育活動を展開していることが評価できます。特に、地域人材の活用や伝統行事への参加を通じて、子どもたちが地域社会とのつながりを深めている点は大きな成果です。 ◎今後もさらに地域・保護者・学校間の共通理解を深め、持続可能な連携体制を構築することが挙げられます。また、情報発信と収集を積極的に行い、地域や保護者との双方方向のコミュニケーションを強化することが重要だと考えます。 ◎生徒数の減少もですし、保護者の協力も限りがあると思います。生徒の皆さんが楽しめて参加できる様にしてもらいたいと思います。 ●地域の人の学校行事参画は、学校としては当たり前ととらえず、毎年代表の方々と打ち合わせを行うことで実施したほうが良いと思われた。（特に若宮神楽、上の原白太鼓）
10 学校は、学校便りやHP、マチコミ、学級通信等を活用して必要な情報を発信していると思いますか。	3.7	3.5	3.5	3.4	○文書配付に加え、重要な連絡事項はマチコミ等で重ねて連絡している。 ○学校だよりや学級通信を定期的に発行し、タイミングを逃さない発信を行っている。 ●月行事、週案の保護者への配付について発信対象者や発信方法等を整理し周知を図っていく。 ●感染症の罹患状況については、状況を把握しながらマチコミや保健だより等を活用して発信していく。 ●効果的なHPの運用を引き続き考えていく。	3.5	3.1	○学校便り、学級通信は内容がよく分かりよい。更新が多い月と少ない月があるがHPも頑張っている。 ◎情報発信の取り組みは、学校と保護者・地域との信頼関係を築く上で重要な役割を果たしています。デジタルベース、ペーパーベース共に今後のさらなる改善と発展を期待しています。 ◎学校だよりは、地域に閲覧されているので目にしますが、ホームページやマチコミは外部からは、なかなか見にくいのではない。せっかく、知ることができるツールなので運営協議会委員として受信するようにしたい。